

第118期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



結

新東工業株式会社

株主の皆様へ



取締役社長
永井 淳

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第118期中間期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)のご報告を申し上げます。

当中間期の経済状況は、海外では、米国経済が緩やかな成長を維持しましたが、欧州は弱含みで推移し、中国やアセアンなど新興国経済では、総じて減速懸念が広がりました。国内では、個人消費などが消費税増税による反動の影響を受けるとともに、輸出関連企業で円安による業績改善が進みました。しかし、エネルギーや原材料の高騰による悪影響を受けた業界では、厳しい状況が続きました。

当社グループでは、中国やアセアン市場で自動車関連の設備投資需要が鈍化し、国内では、復興関連の需要や設備稼働率の向上に伴う投射材やメンテナンス部品などのアフターマーケット需要によって下支えされました。

このような情勢下、当中間期の受注高は44,149百万円(前年同期比2.6%減)、売上高は42,273百万円(同3.4%増)、受注残高は29,627百万円(同0.1%増)となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加の影響があり、営業利益は1,128百万円(同9.8%減)となりました。経常利益は1,547百万円(同31.1%減)を計上し、純利益は900百万円(同33.9%減)となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり7円とさせていただきました。また、期末配当金を1株当たり7円として、年間配当金は前期より1円増配の1株当たり14円を予定しております。

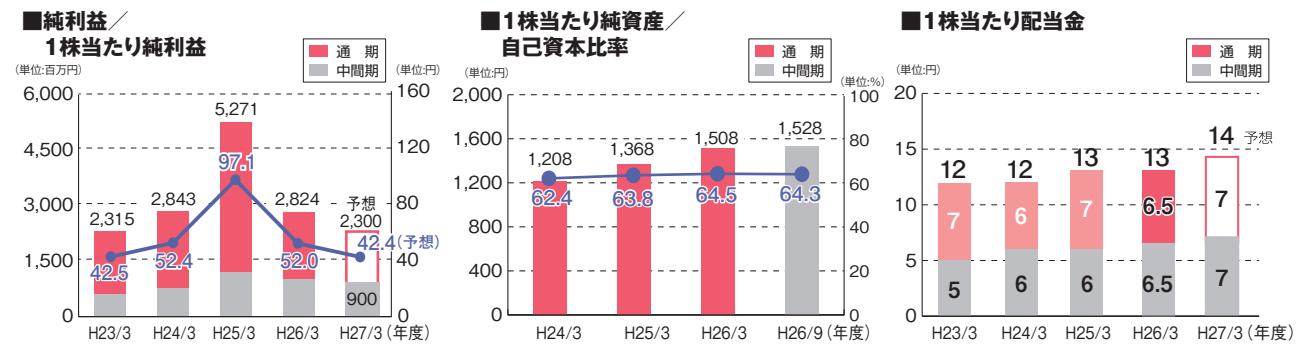
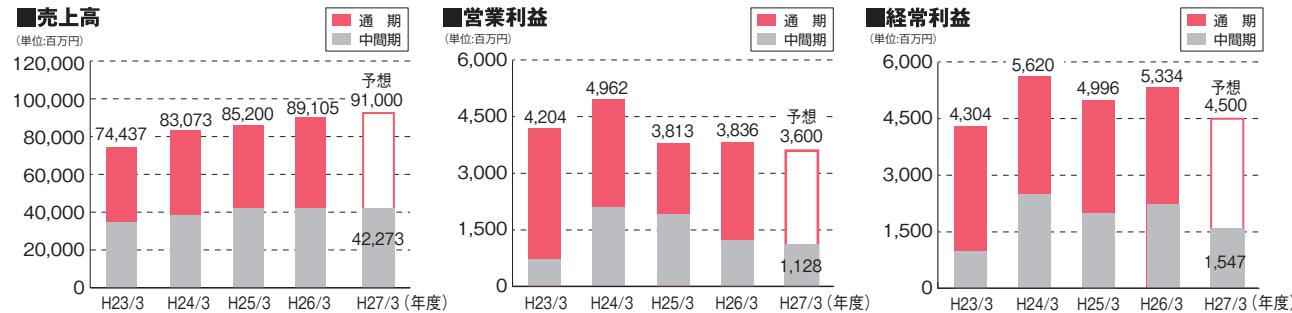
当社グループの事業環境は、国内では、引き続きアフターマーケット需要が見込まれますが、円安によりデメリットを受けるお客様も多く、厳しい環境が続くものと思われます。海外では、新興国市場に需要の一服感はありますが、成長に呼応した自動車関連業界等の設備投資需要が期待されます。

このような状況の中、アジア市場をターゲットに技術移転の推進により現地対応力を強化するとともに、海外現地拠点と協働して、設備の安定・安全稼働をサポートするアフターサービス事業を強化・拡充することで部品・消耗品・改造・メンテナンスによる「細かく稼ぐ」ことを徹底いたします。加えて、各市場のニーズに適応した商品開発を加速させ、設備・ソフト・改造・プロセスの提案を積極的に行い、売上の拡大と収益の確保に努めてまいります。

これからも皆様のご期待に沿うべく全力を傾けてまいりますので、このうえとも倍旧のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

連結業績の推移

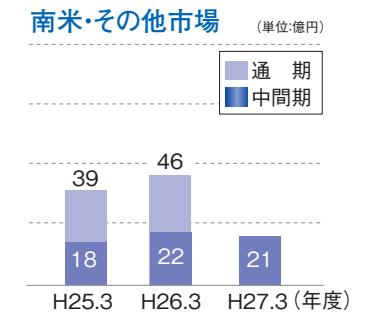
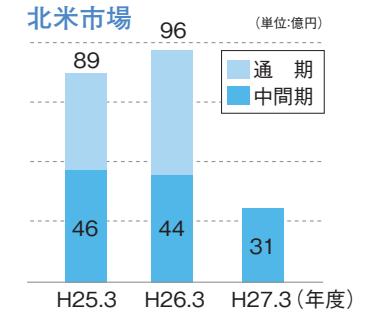
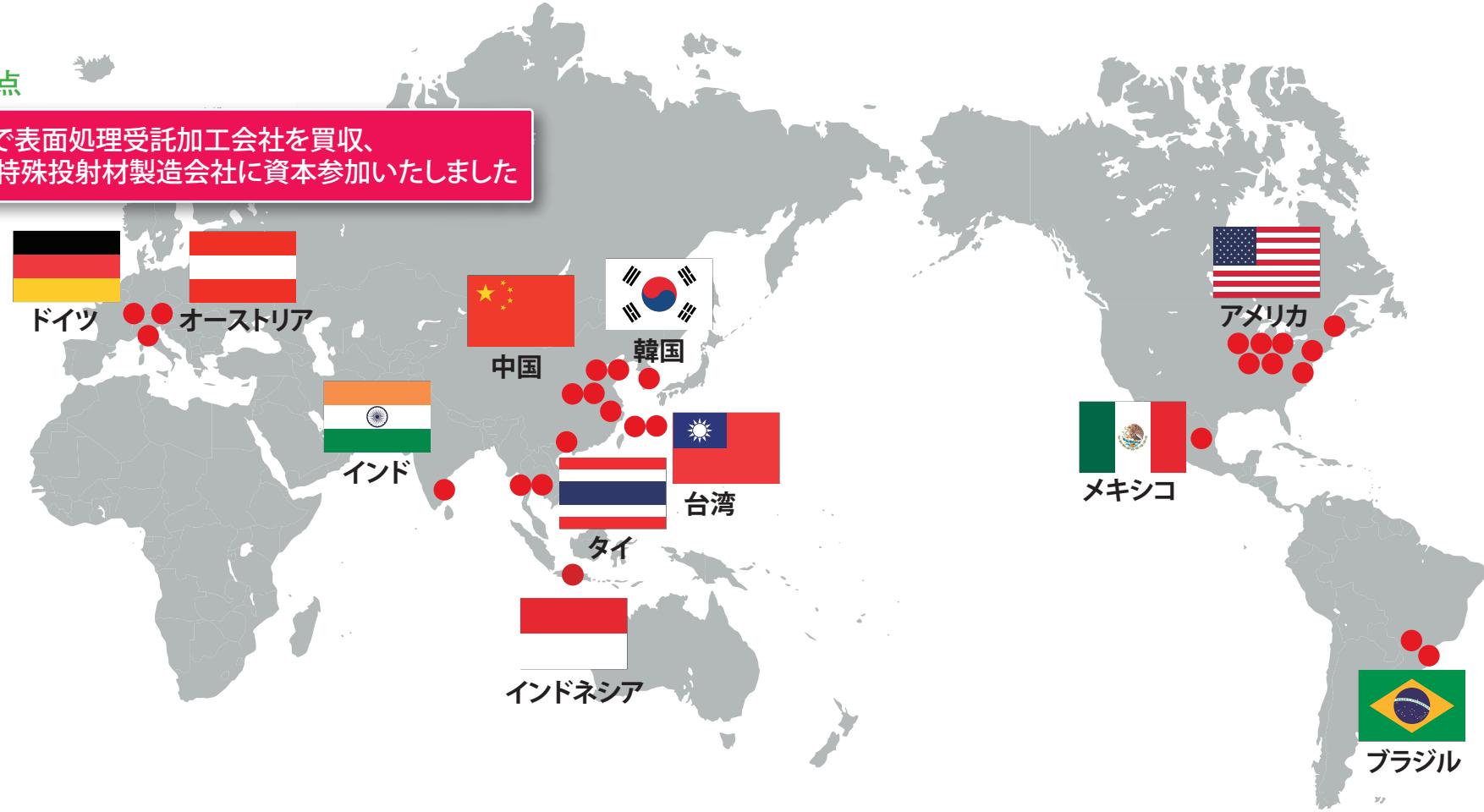
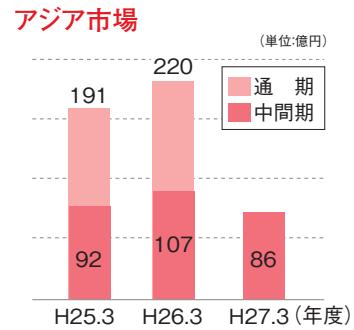
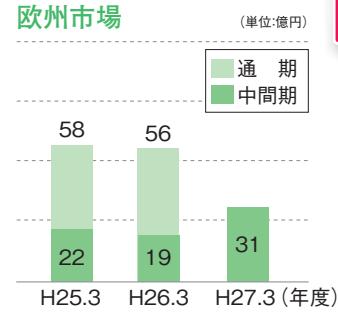


グローバル展開

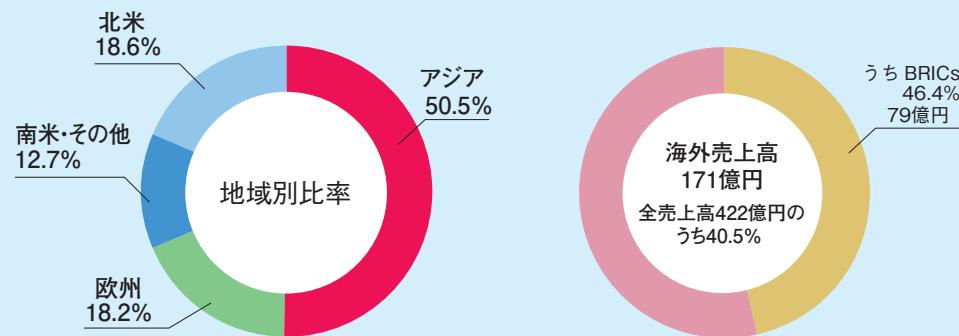
海外の主な製造・販売サービス拠点

—11ヶ国27拠点—

アメリカで表面処理受託加工会社を買収、ドイツで特殊投射材製造会社に資本参加いたしました



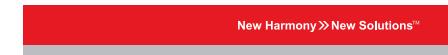
海外売上高の概況



新たな新東ブランドの構築「ONE GLOBAL SINTO」

「世界中のお客様から選ばれ続ける新東ブランド」

“技術の差別化” + “信頼のサポート”



シンボルマーク は「東」から昇る燃える太陽の炎で新東の行動力を表すとともに、「新」は挑戦、マークの10本の は、お客様と握手して一体となり、ともに発展していく姿を示しています。

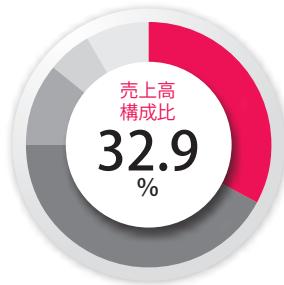
事業別業績

事業内容 当社グループは、当社および子会社47社、関連会社5社で構成され、シールドガス掘削用途のサンドコーティング設備を含めた鋳造装置、表面処理装置、投射材・研磨材、環境、搬送およびメカトロ関連等特機の設備装置の製造・販売を主な内容として、グローバルに事業活動を展開しています。

鋳造事業

売上高
140億68百万円
(前年同期比3.1%減)

営業利益
4億52百万円
(前年同期比35.9%減)



国内のアフターマーケット需要とともに、中国で自動車関連向け鋳造プラント等の需要がありましたが、自動車関連の設備投資がアセアン市場で一服したことに加え、欧州市場で需要が低調に推移したため、売上高は140億68百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

営業利益は、4億52百万円(同35.9%減)となりました。

エアレーション技術を応用し
高品質な中子造型を
可能にしました



表面処理事業

売上高
180億87百万円
(前年同期比7.9%増)

営業利益
11億91百万円
(前年同期比11.9%減)



復興需要を受けた鉄骨向けショットブラスト装置が好調に推移し、国内市場やメキシコなどで自動車部品向けにショットピーニングマシンの販売が堅調でした。また、装置に使用する投射材は、国内市場で設備稼働率の向上を受けて増加し、分野全体の売上高は180億87百万円(同7.9%増)となりました。

営業利益は、利益率が伸びず、11億91百万円(同11.9%減)となりました。

表面処理後の評価を行う
技術として開発された
sightiaシリーズ



環境事業



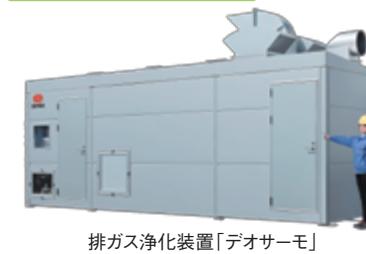
売上高
46億72百万円
(前年同期比25.0%増)

営業利益
3億57百万円
(前年同期比—)

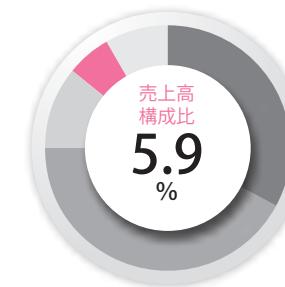
中・大型集塵機や工作機械向け小型汎用集塵機が伸長するとともに、VOCガス浄化装置の寄与があり、売上高は46億72百万円(同25.0%増)となりました。

営業利益は、3億57百万円(前年同期は60百万円の損失)となりました。

パッケージタイプで
現地工事1日で据付け可能



搬送事業



売上高
25億18百万円
(前年同期比5.6%減)

営業利益
23百万円
(前年同期比35.3%増)

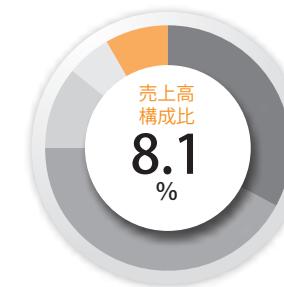
シザーリフト、福祉・医療向け段差解消機が堅調に推移しましたが、コンベヤが低迷するとともに、北米での自動車部品向け搬送装置が伸び悩み、売上高は25億18百万円(同5.6%減)となりました。

営業利益は、販管費を圧縮したことで、23百万円(同35.3%増)となりました。

車いすの方の
外出をサポート
しています



特機事業



売上高
34億51百万円
(前年同期比6.4%減)

営業利益
△2億37百万円
(前年同期比—)

自動車部品生産設備向けサーボシリンダが堅調に推移しましたが、リサイクル向け造粒装置の需要や、液晶パネル向けハンドリングロボット、有機EL向け精密計測装置の売上が低迷し、売上高は34億51百万円(同6.4%減)となりました。

営業損益は、2億37百万円の損失(前年同期は34百万円の損失)となりました。

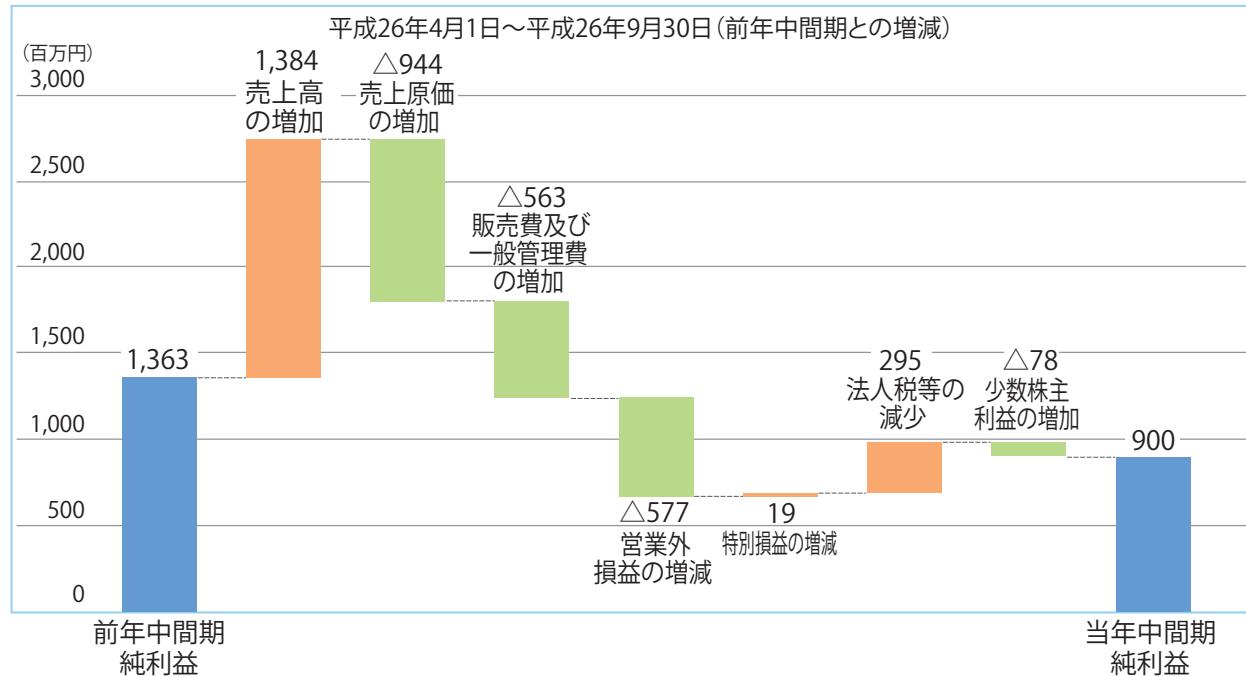


財務ハイライト

	当期中間期	前年中間期	増減
売上高	42,273百万円	40,889百万円	3.4%増
営業利益	1,128百万円	1,251百万円	9.8%減
経常利益	1,547百万円	2,247百万円	31.1%減
純利益	900百万円	1,363百万円	33.9%減
1株当たり配当金	7円	6.5円	0.5円増配

連結損益計算書の概要

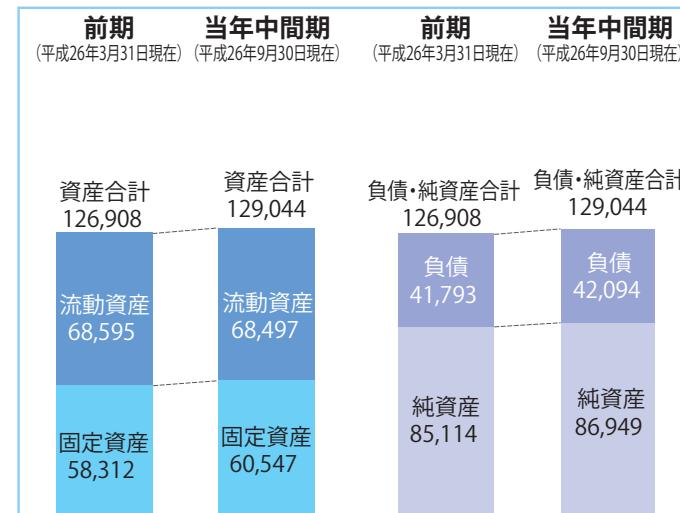
単位:百万円(未満切捨)



POINT 売上高は伸びましたが、売上原価や販売費及び一般管理費の増加もあり、営業利益は前年中間期比で1億円減少しました。また、最終的な当期中間期純利益は、法人税等の減少があったものの、営業外損益の増減等により、同4億円の減少となりました。

連結貸借対照表

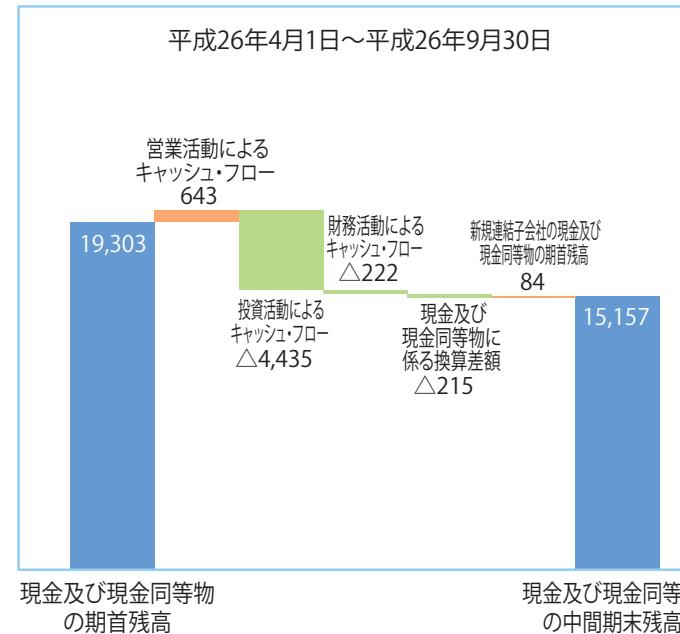
単位:百万円(未満切捨)



POINT 有形固定資産や投資有価証券の増加等により、当期中間期末の資産は前期末と比べ21億円増加し、1,290億円となりました。負債は、短期借入金の増加等により前期末と比べ3億円増加し、420億円となりました。純資産合計は、前期末と比べ18億円増加の869億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(未満切捨)



POINT 営業活動によって得られた資金は、税金等調整前当期純利益等により6億円となりました。これに投資活動により支出した44億円、財務活動により支出した2億円、現金及び現金同等物に係る換算差額の減少2億円、新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高0.8億円等が加わり、現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ41億円減少し151億円となりました。

ブランドスローガン

New Harmony >> New Solutions™

「New Harmony >> New Solutions™」は、新東工業グループの意志であるブランドコンセプトの「技術の差別化」・「信頼のサポート」をグローバルに宣言するブランドスローガンです。

新東工業グループはステークホルダーとの絆を深め、より強い信頼関係を築くことを目指しています。そのために「技術力」と「お客様をサポートする力」を結び、絶えず進化させ、常に新しいソリューションとベネフィットを提供し続けます。そして幅広い技術の融合により、新しいソリューションと価値を創造します。

こうした企業活動により社会および環境との調和に貢献していきます。



新東工業株式会社

〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11番11号

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

www.sinto.co.jp

